

OSSH特別講演会

3月9日（水）に本校体育館でSSH特別講演会を実施しました。兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザ先生を迎え、「いま、求められるコミュニケーション能力と新しい学力」の演題で講演をしていただきました。

演劇科、普通科、GS科を抱える本校にとって、大変勉強になるお話の数々でした。「灯台下暗し」と思いますが、北高には恵まれた教育環境が用意されています。勇気を出してより多くの生徒、先生とコミュニケーションをとってください。そして、学習に活かしてください。



OSSH事業 課題研究中間発表報告会

GS科の2年生が課題研究中間発表会を行いました。参加者を限定し、かつ発表場所を2つに分けての開催となりました。

京都大学大学院 馬場 正昭 名誉教授

兵庫県立人と自然の博物館 橋本 佳延 主任研究員

大阪教育大学 向井 大喜 特任講師

以上の3名の先生、そして校長先生が審査員として参加いただきました。

全12グループが現時点における研究内容の報告を行いました。報告会の最後には、審査員の先生より様々な観点から講評をいただきました。6月の課題研究発表会までに各班とも研究内容を整理し、さらなる進展を期待しています。



OSSH事業 卒業生との交流会



3月18日、GS科1年生と卒業生（34回生）の交流会をもちました。大学生活を1年間終えた先輩達のありがたい話に、みんな一生懸命に耳を傾けていました。後半はいくつかのグループに分かれて、さらに個別にお話を伺いました。GS科では、この交流会に限らず、さまざまなイベントで卒業生がメンターとして後輩の指導にあたります。

宝塚北高校のSSH事業

・SSH事業って？ → <http://www.jst.go.jp/cpse/ssh/>

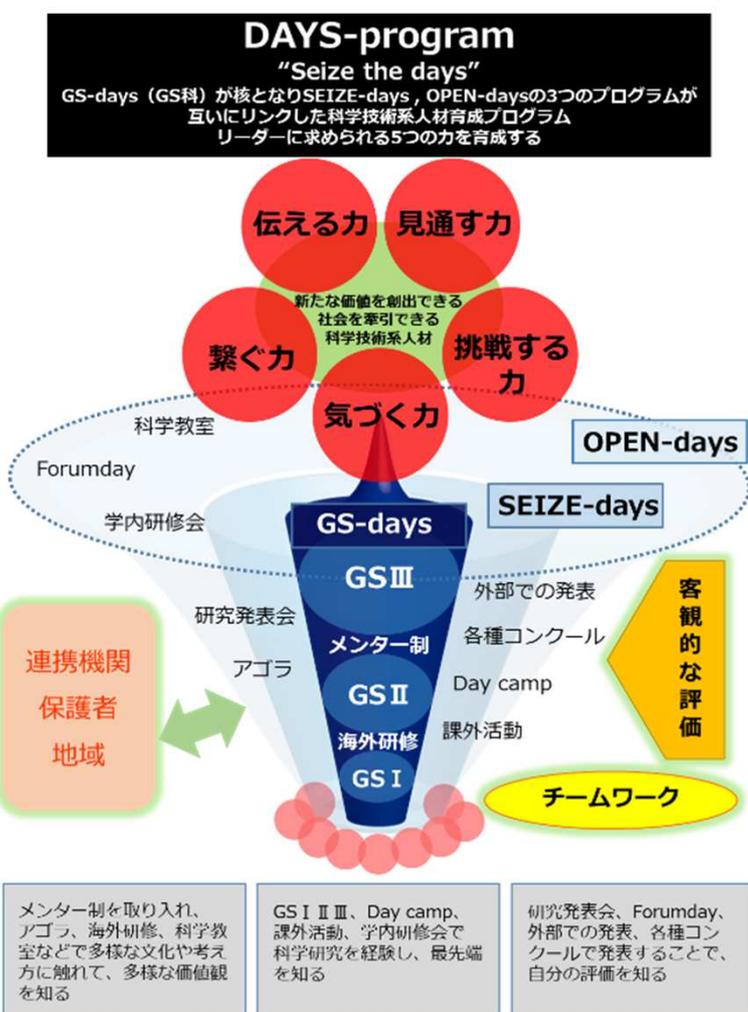
SSH事業とは文部科学省が将来にわたり日本が科学技術分野で世界をけん引するための科学技術系人材育成のために、先進的な理数教育を実施している学校を指定し、その活動の推進をするとともに将来的には高校の理数教育の開発に役立てるといふものです。本校はGS科の取り組みだけでなく**化学部や物理部など普通科生徒が中心となっている取り組みも含めて評価**され2019年度に採択されました。

・「DAYS-program」とは？

本校のSSHのプログラムの核となるのが「**志を持った若手研究者の育成 (Developing Ambitious Young Scientists)のためのプログラム**」【DAYS-program】です。

このプログラムはGS科の新規学校設定科目「GS I・II・III」を含め、GS科の行事と連動させた「GS-days」、これに普通科理系・自然科学系部活動の生徒たちを巻き込んだ「SEIZE-days」(Science & Engineering for Idealization & Zealous Engagement), さらに一般生徒・保護者・地域住民や近隣の教育関係者まで幅広く広げた「OPEN-days」(Opportunities of Parents, Educators & Neighbors)という3段階のプログラムです。

今年度もオープン講座や「Agorá」を通じてできるだけ多くの生徒に参加してもらえるように企画しています。また保護者や地域の皆様も参加できるような講演会なども予定していますので、お気軽にご参加ください。



▲ 本校のSSH事業の概念図

本事業は**GS科・自然科学系部活動が主対象ですが普通科・演劇科の希望者も対象になります**。過去には次のようなプログラムが「SEIZE-days」「OPEN-days」としてオープン講座や「Agorá」の対象となっていました。

今年度もコロナ禍が落ち着きましたら開催しますので是非ともご参加ください。

探究基礎実習 I～V (5～11月)

GS科で行う探究的な実験実習。

Daycamp (7月～11月)

1年生を対象としたミニ探究活動
 秋の発表会を目指す。

フィールド実習 (9月)

校外に出かけて行う科学研修や実習。

顕微鏡組立実習 (1月)

世界でも数例しかない「顕微鏡を作る」実習
「Agorá」 (5～3月)

アゴラや図書室で行う座談会型ミニ講義

「SSH特別講演会」 (3月)

様々な分野で活躍されている方を招いての講演会。令和2年度はQuizKnockの須貝駿貴氏。令和3年度は芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザ氏。

SSH事業を中心とした本校の取組は、DAYS通信などを通してお知らせします。また、過去のDAYS通信はHPで公開しています。ご興味がある方は是非ともご覧ください。